

2020年度 事業報告書

特定非営利活動法人 シニア演劇ネットワーク

1 事業の目的

シニア世代が演劇を通して心身ともに元気になり、社会性のある生活を営むこと。

来年に控えている全国シニア演劇大会 in TOKYOの準備企画としての島しょ部公演と、シニアワークショップにより、新たな挑戦者、新たな観客を開拓する。また、機関紙による情報提供の他、ホームページの充実を図り、広く活動を紹介してゆく。中核団体であるかんじゆく座は、都心及び島しょ部でのボランティア公演で、劇場へ行くのが困難な方の所へ演劇の魅力を届ける。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 4,194 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
全国シニア演劇大会事業	2021年度大会の準備	2021年6月	東京都豊島区	3名	賛助会員 観客	参加者等200名 観客3000名	(9,400千円 来期計上)
情報収集提供事業	メルマガ配信	6月準備 7～5月まで 毎月2回	事業所	2名	賛助会員、機関紙希望者、過去の観客	会員及び全角のシニア劇運営者、劇団員	233千円
俳優活動の紹介事業	シニアのアマチュア俳優のマネージメント	随時	各地	2名	かんじゆく座員	シニアの劇団員28名	98千円
劇団事業	かんじゆく座の定期稽古、出張公演、朗劇発表等	通年	新宿区内及び近郊の障害者施設、高齢者施設	12名	かんじゆく座員、観客	シニア層の元気団員40名	1,769千円
ワークショップ事業	演劇を始めたい高齢者のためのワークショップ(半熟座)等	10月～5月	都内	3名	55歳以上の新人役者	55歳以上のシニア俳優	1,222千円
観劇支援事業	音声ガイド作成の講座、音声ガイドの作成	8～9月に講座、作成は随時	都内各地の劇場	4名	視覚障害者	受講者12名、支援利用者15名	713千円
販売事業	シニア劇団の関連グッズ販売	随時	公演会場等	2名	観客等	250名	182千円